



簡易ガイド・プロセス・品質管理

証明書の試験値を手で入力している？ 測定値は出典付きの表で届く。

試験成績書、ミル証明書、測定記録、校正証明書は、PDF、スキャン、写真の形で届きます。この簡易ガイドでは、PaperOfficeがそれらを認識し、目標値と実測値を持つ特性を表として読み取り、不足を確認に回し、証明書を検査する方法を説明します。品質保証や試験室の方向けです。

概要

検査証明書3.1などお客様独自の種類、出典付きの表で示される特性、バッチや結果が欠けている場合の確認タスク、そしてPDFの証明書に隠れたテキストがないかを確認するTrust Agentを利用できます。

01・課題の内容

値は証明書の中にある。 照合は表計算ソフトの中。

試験成績書やミル証明書は、サプライヤー、試験機関、自社の計測部門から、それぞれ異なる書式で届きます。図面と照らして特性を確認する人は、測定値を表計算ソフトに手入力しています。バッチや結果が欠けていても、多くの場合、監査や苦情の時に初めて分かります。

なぜ起こるのか

情報源も書式も多い

サプライヤーはPDFで証明書を送り、試験機関は記録を印刷し、機械のそばでは手書きの測定シートが作られます。どの情報源も、特性、目標値、許容差の並べ方が異なります。

入力には時間と注意が必要

測定値は、表計算ソフトに一行ずつ写されます。数字の入れ違いや単位の誤りは、原本と照合したときに初めて分かります。

証明書はPDFである

PDFの証明書は編集できます。値が覆われていたり、テキストが隠されていたりしても、画面上では見分けにくいものです。

気づくポイント

- 証明書の測定値を、手で表計算ソフトに入力している。
- バッチの証明書が欠けていることは、監査の時に初めて分かる。
- 機械のそばにある手書きの測定シートが、スキャンされずにファイルに綴じられている。
- 顧客からの苦情があると、そのバッチの試験成績書と証明書を探している。
- PDFの証明書の真正性を、体系的に確認している人がいない。

02・PAPEROFFICEでの進め方

一度定義すれば、 すべての検査書類を読み取る。

検査書類は品質管理用のWorkspaceに集まります。AI-DMSが種類を判定し、IDP Agentが特性と値を出典付きで読み取り、不足している項目は確認タスクになります。検査担当者が、目標値と実測値を原本と照らして判断します。

1

検査書類を集める

メールコネクタがメールボックスから証明書を取り込み、ネットワークスキャナーが試験記録を届け、測定シートはモバイルアプリから届きます。すべてが品質管理用のWorkspaceに入ります。

モジュール: CONNECTORS

2

種類を認識する

AI-DMSは、試験成績書、測定記録、検査報告書、証明書、適合宣言書、苦情を判定します。検査証明書3.1などの種類は、ご自身で追加できます。

モジュール: 分類

3

特性を表として読み取る

IDP Agentは、報告書に記載された通りに、特性ごとの目標値、許容差、実測値、単位を読み取ります。バッチ、検査担当者、日付も読み取ります。フィールドと表の行には、それぞれ出典が付きます。

モジュール: IDP AGENT

4

不足は確認に回す

バッチや結果など必須のフィールドが欠けていると、選択したキューに確認タスクが作成されます。是正処置は、報告書上に期限付きのタスクとして記録します。

モジュール: タイムライン

5

証明書を確認する

Trust Agentは、PDFの証明書に隠れたテキストや覆われたテキスト、埋め込みファイルがないかを確認します。Premiumからは、テキストレイヤーとページ画像も比較します。結果は文書に残ります。

モジュール: TRUST AGENT

03・アプリでの操作

メールボックスから 特性の読み取りまで。

品質管理用のWorkspaceの設定手順です。サプライヤーの証明書用のメールボックス、AI-DMSを使うWorkspace、例として典型的な試験成績書を用意してください。

1

メールボックスを接続する

サプライヤーの証明書用のメールボックスを、Storage Mountとして追加します。その後、Document AI > Connectors で、接続先を品質管理用のWorkspaceとするコネクタを設定します。添付ファイルは一つずつ届きます。

2

独自の種類を追加する

Document AI > ドキュメントタイプ で、新しい文書タイプ を使って検査証明書3.1や校正証明書などの種類を追加し、その認識方法を英語で記述します。

3

特性のエージェントを作成する

試験成績書を選択し、アクション > エージェントとワークフロー > IDP を開いて、フリーテンプレート（ビジョンプロ）から始めます。特性、目標値、許容差、実測値、単位の列を持つ表を追加し、テストします。

4

種類ごとに自動化する

Document AI > ドキュメントタイプ で、試験成績書の種類に IDP Agent をバインド を使ってエージェントを設定します。お客様の検査証明書3.1の種類にも同様に設定します。IDP Review には不足が一覧表示されます。

5

アクションとPDFの確認

報告書で、アクティビティ タブから期限と担当者を付けたタスクを作成します。PDFの証明書を選択し、アクション > エージェントとワークフロー > Trust で確認させます。

現場からのヒント

最も読みにくい測定シートで試す 最初のテストには、手書きの測定シート、傾いたスキャン、サプライヤーの証明書を使ってください。テスト実行を数回繰り返します。値が毎回同じなら、エージェントはこれらの書式を一貫して読み取っています。

04・事例

自動車部品サプライヤーが週に多くの証明書を扱う。



従業員200名の自動車部品メーカーで、購入した鋼材から旋盤加工品とフライス加工品を製造しています。品質保証部門は、製鉄所から届くミル証明書、計測室の測定記録、外部試験機関の試験成績書を確認しています。ある顧客は、納入のたびにバッチごとの証拠を求めています。

導入前

- ミル証明書はメールで届き、測定記録は計測室から印刷された紙で届きます。
- 測定値は手で表計算ソフトに入力され、図面と照合されます。
- 証明書にバッチが記載されていない場合は、次の監査の時に初めて分かります。
- 苦情があると、そのバッチの試験成績書と証明書をかき集めます。

PAPEROFFICE導入後

- 証明書と記録は、コネクタとスキャナーを通じて品質管理用のWorkspaceに届きます。
- 特性、目標値、許容差、実測値は、出典付きの表になります。
- バッチが欠けている場合、報告書は検査担当者のための確認タスクとして保留されます。
- バッチ番号で検索すると、証明書、試験成績書、測定記録がまとめて見つかります。

説明のための架空の事業所です。登場する人物はすべて架空です。読み取った特性と値を次の工程に渡す前に、手書きのものを含む実際の報告書で正しく読み取られているかを確認してください。

05・チェックリスト

最初の証明書を 読み取る前に。

品質保証、試験室、購買部門と、これらの項目を確認してください。それぞれ、開始前に自社の業務の中で決めておけます。

- | | |
|---|--|
| ☐ 検査書類の種類ごとに、必要な特性と値が明確になっている。 | ☐ 検査証明書3.1や校正証明書などの独自の種類を設定し、テストしている。 |
| ☐ 特性の表について、特性、目標値、許容差、実測値、単位で合意している。 | ☐ バッチ、検査日、結果は、確認付きの必須フィールドになっている。 |
| ☐ 許可された値には、合格結果の表記がすべて挙げられます：「OK」、「Pass」、「Passed」。 | ☐ エージェントは、手書きのスキャンを含む、複数のサプライヤーの報告書でテストされている。 |
| ☐ 毎日、誰が IDP Review ビューを確認するかが決まっている。 | ☐ 目標値と実測値を原本と照らして、誰が判断し、承認するかが明確になっている。 |
| ☐ 逸脱に対する是正処置は、報告書上に期限付きのタスクとして作成されている。 | ☐ 新しいサプライヤーのPDF証明書は、承認の前に Trust Agentで確認している。 |

06・よくある質問

検査担当者と 品質管理責任者が尋ねること。

PaperOfficeはどの検査書類を認識しますか？

試験成績書、測定記録、検査報告書、証明書、適合宣言書、苦情はシステムの種類です。検査証明書3.1、分析証明書、校正証明書は、短い説明を付けて独自の種類として追加できます。

手書きの測定シートも読み取れますか？

はい。AI-DMS UltraではAI-OCRが手書きの文字も読み取ります。**フリーテンプレート（ビジョンプロ）**テンプレートは、手書き、表、チェックボックス、スタンプを含むレイアウト用のカスタムスキーマです。エージェントを自動で動かす前に、実際の測定シートでテストしてください。

証明書が改ざんされていないかは、どのように確認しますか？

Trust Agentは、隠れたテキストや覆われたテキスト、埋め込みファイル、スクリプトを報告します。Premiumからは、テキストレイヤーとページ画像の違いも報告します。0から100までのリスクスコアを返し、最終的な判断は人が行います。

目標値はどこから取得されますか？

報告書に目標値と許容差が記載されていれば、IDP Agentは実測値と同じ行からそれらを読み取ります。検査担当者は原本と照らして判断します。値はCSV、Excel、JSONとして出力できます。

値が欠けている場合はどうなりますか？

フィールドごとに、確認付きの必須、確認の通知のみ、既定値、空欄の許可を設定できます。確認キューを選択すると、確認タスクが作成されます。確認タスクはProfessionalプランに含まれます。

校正証明書の期限は、どのように管理しますか？

証明書に有効期限が記載されていれば、Premium以上ではAI-DMSがそれを**有効期限**として読み取ります。タイムラインは、この日付で証明書を並べます。各証明書には、期限と担当者を付けたタスクを作成できます。たとえば、次回の校正のためのタスクです。

07・始め方

次の試験成績書を、出典付きで読み取る。

PaperOffice のアカウントにサインインし、試験成績書を品質管理用のWorkspaceにアップロードして、最初の特性エージェントを作成します。費用は利用量に応じて発生し、詳細は料金ページに記載しています。

検査書類を一種類選ぶ

最も多く届く種類から始めてください。たとえば、最も重要な鋼材サプライヤーのミル証明書です。

二週間並行して動かす

現在の確認と並べてエージェントを動かし、値を原本と照らして比較してください。

すべての書類に広げる

流れがうまく機能したら、測定記録と試験成績書のエージェントを作成し、書類の種類に結び付けてください。

関連データシート

Connectors

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-connectors-ja.pdf

分類

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-classification-ja.pdf

IDP Agent

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-idp-intelligent-document-processing-ja.pdf

Trust Agent

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-document-integrity-check-ja.pdf

タイムライン

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-timeline-ja.pdf

スマート検索

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-smart-search-ja.pdf

このテーマの関連情報

品質管理

paperoffice.ai/ja/kaiketsu/process/ai-quality-control-automation-iso



このテーマの関連情報

paperoffice.ai/ja/kaiketsu/process/ai-quality-control-automation-iso

料金

paperoffice.ai/en/pricing

お問い合わせ

paperoffice.ai/ja/otoiawase